

市政記者各位

令和8年10月22日
福岡市科学館

プラネタリウムでオーロラ体験 12/6(日) 中垣哲也オーロラ上映&トークライブ開催決定！

オーロラメッセンジャー中垣哲也氏をゲストに招き、ドームシアター(プラネタリウム)でオーロラの上映とトークライブを開催します。アラスカやカナダ・ユーコンで中垣氏自ら撮影した厳選のオーロラ映像とともに、現地での体験をお話しいただきます。当館では2020年から実施している人気のイベントで、今回で7回目の開催となりました。



中垣 哲也
オーロラ
上映 & トークライブ
ビーバーと見た
オーロラ
2026年12月6日(日)
①15:00～16:30 / ②17:30～19:00
福岡市科学館6階 ドームシアター (プラネタリウム)

かけがえない奇跡の惑星
地球について思いを馳せるひととき

STARRY NIGHT JAM

オーロラメッセンジャー
中垣 哲也

プラネタリウムでオーロラを体験しよう

アラスカやカナダ・ユーコンの大自然と、リアルなオーロラ映像を福岡市科学館ドームシアター(プラネタリウム)で体験しませんか。

オーロラメッセンジャー中垣哲也氏をゲストに迎え、感動的なオーロラ映像と現地での体験を存分に交えたトークを、たっぷりとお楽しみいただくイベントです。

今回のテーマは「ビーバーと見たオーロラ」。

アラスカやユーコンの水辺にはビーバーが生息しています。今回は膨大な取材データからセレクトしたオーロラのベストシーンの紹介に加え、中垣氏が取材中に現地で共に過ごしたビーバーにフィーチャーしたトークショーを行います。

BGMには本イベントのためにアレンジしていただいたクラシックの名曲をご用意。太陽活動極大期の磁気嵐の鮮やかな光景と共にお楽しみください。

出演：オーロラメッセンジャー 中垣哲也氏からのメッセージ

アラスカやユーコンの極北の大地に存在する池や湖では、静寂に包まれる夜の闇の中で、まるでそこだけがオアシスのように「宇宙の輝き」が大地の鏡に映っています。私が長年レンズを向けてきたその水面には、オーロラが舞い、しかもビーバーの波紋に揺れる、そこは彼らがいのちをつなぐ舞台なのです。私は長い年月、オーロラのもとで夜行性のビーバーとともに過ごしてきましたが、社会的な行動から人間社会が謙虚に学ぶことがいっぱいあると感じています。これから地球上で、たくさんのいのちが、多様性のバランスのもとで共に生きていけるようにと。なぜビーバーに惹かれるのか、私のビーバー愛をオーロラ愛と共に語りたいです。

オーロラメッセンジャー 中垣哲也 プロフィール

1961年生まれ。少年時代より、身近な自然や星空、多様な音楽に親しみながら感性を育む。2001年、ニュージーランド南島で遭遇した真っ赤なオーロラに導かれ、以後、北米やニュージーランドに100回以上通い続け、オーロラを通して、25年間の太陽の息吹、活動の起伏、奇跡の地球を実感。2007年に診療放射線技師から転身、以後は「奇跡の地球」の伝道師として活動。その中で授かった自然への「畏敬の念」「インスピレーション」を自らの感性で表現、人々の感性に感動的に響くよう追求し続けている。映像や投影技術、音楽制作までも自らの表現にこだわり、19年にわたり「唯一無二のオーロラ観」「日本人が忘れてしまった自然への畏敬の念」を全国に届けている。



開催概要

STARRY NIGHT JAM vol.146

中垣哲也オーロラ映像投映&トークライブ『ビーバーと見たオーロラ』

日 時 2026年12月6日(日) ①15時～16時30分 ②17時30分～19時

対 象 中学生以上(推奨)※イベントの特性上、未就学児の入場はできません。

観 覧 料 自由席 高校生以上：1,600円(税込)、小中学生：800円(税込)

観 覧 券 【先行販売】

販売期間：2026年11月7日(土)10時～2026年12月5日(土)16時

WEB(Peatix)限定販売で、販売枚数に達し次第終了です。

【当日販売】

販売開始：2026年12月6日(日)9時30分～福岡市科学館3階総合案内/チケットカウンターにて販売します。

※WEB販売分が完売している場合も、1回につき20席分の当日券を販売します。

詳 細 https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/dome_theater/2026/10/aurora.html

お問い合わせ先



〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1 福岡市科学館

担 当：穴澤・崎山・衛藤

メール：pr.fcsm@fukuokacity-kagakukan.jp

電 話：(092) 731-2525 (代表) FAX：(092) 731-2530

H P：<https://www.fukuokacity-kagakukan.jp>

